

第 2 回

登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題

一般社団法人全国建築測量協会

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60 分
2. 問題数 25 問
3. 注意事項
 - (1) 試験問題は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
 - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
 - (3) 机上には、受講票・筆記用具・計算機以外のものは置かないでください。
 - (4) 携帯電話、スマートウォッチ等の通信機能のある機器は、電源を切りカバンの中に入れて下さい。
 - (5) 解答はマークシートに鉛筆かシャープペンシルで記入してください。それ以外のボールペン筆などを使用した場合は採点できません。
 - (6) 問題は四肢択一方式です。正解と思う番号を次の例に従って塗りつぶしてください。

マーク例 ● (濃くマークしてください。はみ出し注意)

- (7) マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
- (8) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答が終了した場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って退室して下さい。退室後は試験終了まで再入室ができません。
- (9) 問題用紙は、試験終了後に回収しますので持ち帰らないようにして下さい。

第2回 登録建築測量基幹技能者 試験問題

【問 1】 登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 登録基幹技能者とは、熟達した作業能力を持った職長である
- ② 登録基幹技能者とは、豊富な知識を持った職長である
- ③ 登録基幹技能者とは、マネジメント能力に優れた技能者である
- ④ 登録基幹技能者とは、厚生労働大臣の登録を受けた機関が資格認定した者である

【問 2】 登録建築測量基幹技能者講習の受講要件に関する次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

- ① 10年以上の実務経験
- ② 班長経験年数が7年以上
- ③ 職長経験年数が3年以上
- ④ 実施機関において定めている資格等の保有

【問 3】 登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

- 1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力
- 2. 技術の進展等に的確に対応した（ A ）
- 3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力

- ① 技能
- ② 知識
- ③ CAD能力
- ④ IT技術

【問 4】 OJT 指導教育の基本認識に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として最も適当なものはどれか。

OJT は職場の上司が部下の育成のために日常作業を通して行う指導・教育であり、（ A ）に実施する必要がある

- ① 継続的に日常的
- ② 研修施設で休日
- ③ 講師を招いて仕事終わり
- ④ 仕事のペースを落として強制的

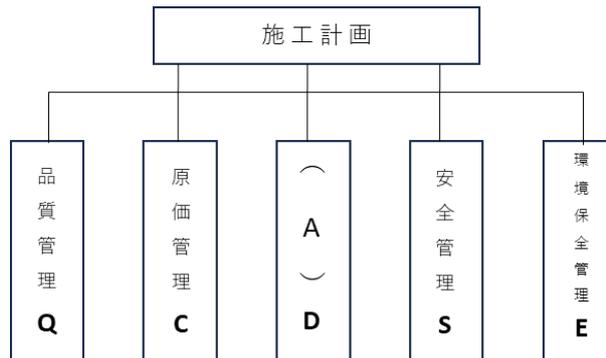
【問 5】 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、最も適当な組み合わせはどれか。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1人～	常用労働者	国民健康保険	厚生年金	加入
	-	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	（ A ）
	1～4人	常用労働者	国民健康保険	国民年金	（ B ）
	-	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- ① A：加入 B：適用除外
- ② A：加入 B：加入
- ③ A：適用除外 B：加入
- ④ A：適用除外 B：適用除外

※ 上記の試験問題において設問（表）の一部に誤記載がありました。お詫びして訂正いたします。なお、この訂正による合否判定への影響はありません。
 （誤）厚生年金 ⇒ （正）国民年金

【問 6】 施工計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものとはどれか。



- ① 衛生管理
- ② 工程管理
- ③ 施工管理
- ④ 体調管理

【問 7】 PDCA サイクルに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

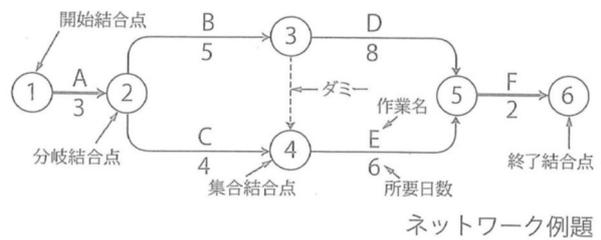
- ① Plan=計画を立てる
- ② Do=計画に基づき実施する
- ③ Cost=予算の確認を行う
- ④ Action=適切な処置を施す

【問 8】 日程計画に関する次の式の (A) に当てはまる語句として、最も適当なものはいずれか。

$$1日当たりの平均施工量 \geq \frac{\text{工事量}}{(A)}$$

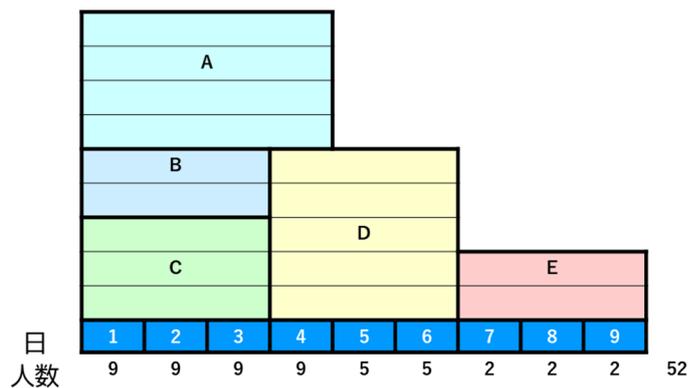
- ① 作業可能日数
- ② 休日日数
- ③ 平均施工量
- ④ 平均予算

【問 9】 下記ネットワーク例題の記述について最も不適当なものはいずれか。



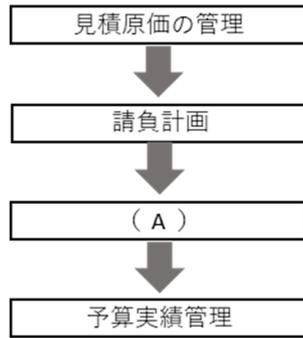
- ① ④の最早開始時刻 (E S T) は 8 である
- ② ④の最遅終了時刻 (L F T) は 8 である
- ③ ⑤の最遅終了時刻 (L F T) は 16 である
- ④ クリティカルパス (C P) の経路は 1 8 である

【問 10】 次の山積み表の『C 工事』にかかる合計人数と日数で、最も適当なものはいずれか。



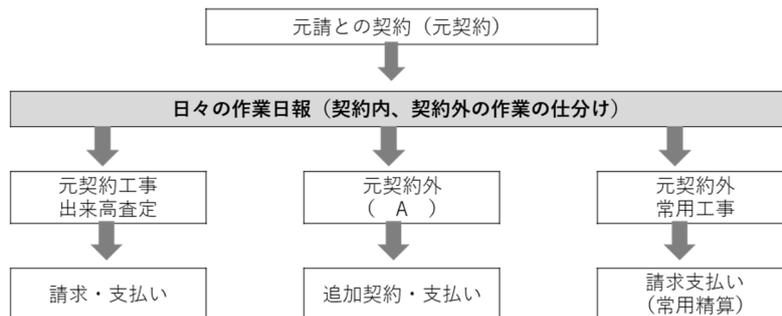
- ① 合計人数 : 15 人 日数 : 3 日
- ② 合計人数 : 9 人 日数 : 3 日
- ③ 合計人数 : 16 人 日数 : 4 日
- ④ 合計人数 : 6 人 日数 : 3 日

【問 11】 原価管理計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。



- ① 粗利益の計算
- ② 利益予想の計算
- ③ 実行予算の作成
- ④ 補正予算の作成

【問 12】 予算実績管理に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。

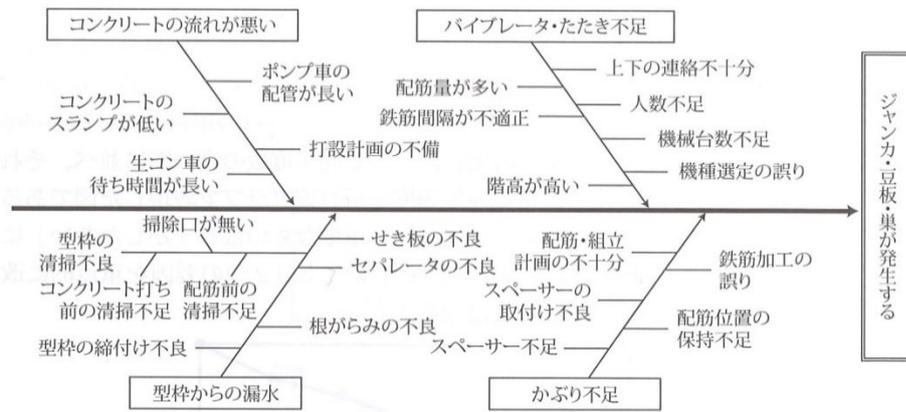


- ① 請負工事
- ② 追加工事
- ③ 内装工事
- ④ 外構工事

【問 13】 基準日額の一般的な算出方法として最も関係の薄いものはどれか。

- ① 月間総労働人工数の算出
- ② 社会保険料等の算出
- ③ 工事原価に含まれる経費算出
- ④ 一般管理費等の算出

【問 14】 QC7 つ道具に関する以下の図について最も適当なものはどれか。



- ① 散布図
- ② 管理図
- ③ パレート図
- ④ 特性要因図

【問 15】 度数率に関する計算式の (A) に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

$$\text{度数率} = \text{労働災害による死傷者数} / \text{延労働時間数} \times (A)$$

- ① 1 万時間
- ② 10 万時間
- ③ 100 万時間
- ④ 1,000 万時間

【問 16】 安全衛生規則により推奨される墜落防止対策に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 作業床は幅が 40 c m 以上とし、かつ、床材の隙間が 3 c m 以下とする
- ② 高さが 2 m 以上のところで作業等を行う場合は作業床を設置する
- ③ 作業床の設置が設置困難な場合には落下防止ネットを張り墜落制止用具を使用させる
- ④ 手すりは床面から 85 c m 以上であれば中さんを設ける必要はない

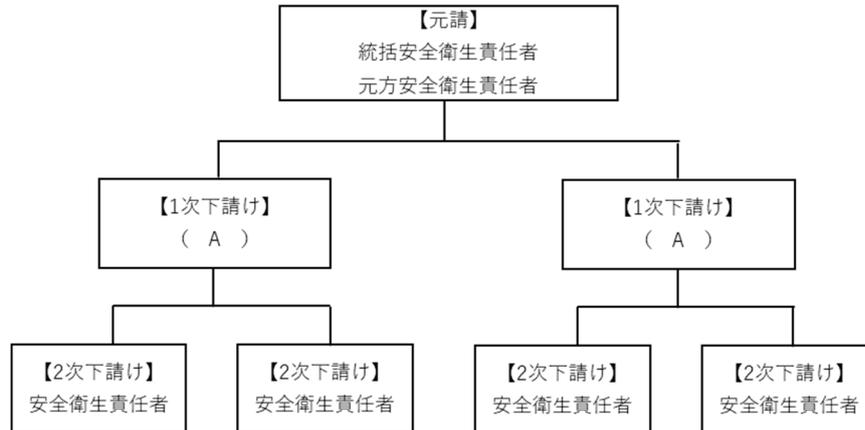
【問 17】 熱中症予防対策に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 作業の休止時間及び休憩時間を確保し、高温多湿作業場所の作業を連続して行う時間を短縮する
- ② 作業中の水分、塩分の定期的な摂取を指導する
- ③ 熱を吸収しやすい服装を避け、透湿性・通気性のよい服装を着用させる
- ④ 熱中症の兆候が出た場合は現場への報告は行わず、速やかに作業を中断し帰宅させる

【問 18】 ヒューマンエラーの原因となる人間の 12 の特性に含まれないものはどれか。

- ① 近道・省略行動
- ② パニック
- ③ 場面行動
- ④ 単独行動

【問 19】 次の表の (A) に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



- ① 代表者
- ② 現場代理人
- ③ 主任技術者
- ④ 安全衛生責任者

【問 20】 赤伝処理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ① 赤伝処理を行う場合は、元請負人と下請負人双方の協議・合意が必要である
- ② 赤伝処理を行う場合は、その内容について合意があれば、見積条件・契約書面に明示する必要はない
- ③ 適正な手続に基づかない赤伝処理は建設業法に違反するおそれがある
- ④ 差引額については下請負人の過剰負担とならないよう十分に配慮することが必要である

【問 21】 トータルステーションの後方交会法による機設に関する注意点の次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 3 点以上の既知点を使用する場合は、交角をなるべく均等にする
- ② 既知点の交角は 30° 以上 150° 未満にする
- ③ 器械点から既知点までの距離は 5m 以上にする
- ④ 器械点から既知点までの距離をなるべく同じにする

【問 22】 測量機器の等級、性能、校正、検定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 測量機の性能は、気泡管感度や最小読取値によって決まる
- ② 国土交通省国土地理院において測量機器の性能基準が定められている
- ③ 建築測量に使用する測量機器は、「測量法第 34 条で定める作業規定の準則」により、1 年以内に検定を受ける
- ④ 測量機器性能基準は、測量法第 4 条に規定する基本測量に使用する測量機器の性能基準を定め、その精度の確保を図ることを目的としている

【問 23】 通り心（基準線）の設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 通り心の追い出しとなる敷地境界や既存建物などはあらかじめ監理者、元請け職員と現地にて確認を行う
- ② 日本で用いられている平面直角座標は全国で 19 の座標系に区分されている
- ③ 縮尺係数についての確認や、通り心設定方法を決定するのは、建築測量技能者である
- ④ 実地において追い出す距離は、水平距離である

【問 24】 基準レベルの設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 各階基準レベルの追い上げは、建物の軸縮み予想量により、階高を設計寸法と異なる値で設定する場合がある
- ② 各階基準レベルの追い上げは、2 カ所以上で行い、追い上げ誤差や間違いがないことを確認する
- ③ 基準レベル設定場所は、後になって確認できる連続した同一面が望ましい
- ④ 各階基準レベルの追い上げは、S 造の場合は鉄骨歪み直し完了後に、実施することが望ましい

【問 25】 各階基準墨の設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① スラブコンクリートは、打設後 48 時間までの収縮量が大きいため、それ以降に基準墨出しをすることが理想である
- ② 追い上げ用の墨穴位置を建物の四隅にした場合は、コンクリートの収縮による影響が出やすい
- ③ 追い上げ用の墨穴位置は、漏水リスクの低い内部となる位置が望ましい
- ④ 各階基準墨出しは、後工程や仕上げ墨出し時に識別できるよう考慮し、必ず黒墨で墨出しを行う

2023年 第2回

登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題解答

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
④	②	②	①	②

問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
②	③	①	②	②

問 11	問 12	問 13	問 14	問 15
③	②	①	④	③

問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
④	④	④	④	②

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25
③	③	③	④	④

配点

4点 × 25問 = 100点

合格基準

登録建築測量基幹技能者認定講習修了試験において、100点満点で60点以上を取得した者を合格者とする。